



発行・カトリック水巻教会  
編集・広報委員会  
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3  
〒807-0025  
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354  
第442号

からしだねの由来 マタイ13章31節、マルコ4章30節、ルカ13章18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

## 「司祭不在の時の主日の集会祭儀」導入について ②

フランシスコ・アシジ 谷口尚志

～ミサを理解することなしに集会祭儀はあり得ない～

### 1、「ミサ」の言葉自体の意味は？

・「ミサ」とは、言語的には“解散”とか“派遣”という意味になります。「ミサ」はラテン語規範版のミサ式次第の最後、つまり、派遣の際の言葉「Ite Missa est」(直訳すると「派遣(解散)です、行きなさい。’)からとられているため、祭儀全体の意味を指している言葉ではありません(英語で言うところの「Mission」)。派遣の度に宣言されてきたため、いつからか祭儀全体を指す固有名詞となったのではないのでしょうか。日本の教会では「感謝の祭儀」という名称を使っている司祭が多いと思います。

### 2、どうして「ミサ」を「感謝の祭儀」と呼ぶのか？

・単刀直入に言えば、ミサ全体が神への賛美と感謝に満ちたものだからです。

・私たちは天地を創造された神がご自分の似姿として創られた私たちに永遠のいのちを与えて下さったこと、また、その永遠のいのちを罪によって失ってしまったことを聖書のみことばによって、また信仰によって知らされています(これが「原罪」と、その結果である「死」です)。これにより、私たちがどんなに努力しても永遠のいのちを取り返すことはできなくなってしまったのですが、そんな私たち人類を憐れみ、ひとり子イエス・キリストをこの世に遣わし、彼に聞き従い、彼を信じるすべての者に永遠のいのちを与えようと計画されました。ですから、神ご自身がこの救いの神秘をイエス・キリストによって明らかにされたことを受け、私たちがイエス様の復活された日(主日)に集い、神に賛美と感謝をささげる祭儀を行うことは当然なことなのです。

・教会は復活されたイエス様と結ばれていますから、“目に見えない神の恵みの目に見えるしるし”である諸秘跡の源泉(「原秘跡」と呼びます)として、イエス様の過越の神秘に自らをあずからせ、自らも捧げます。よって、

ガンバ3	3面
レプトン会よりペルーからの手紙	4面
ベトナム青年会の新役員紹介	5面
幼稚園から	6面
小教区委員会報告	7・8面
お知らせ	8面

ミサのことを「感謝の祭儀」と呼ぶのは、私たちも父である神への希望と信頼、賛美と感謝をもって人類の罪を償ういけにえとして捧げたイエス様に倣っているからなのです。祭壇へ運ばれる私たちの準備したささげもの（生き方そのもの、生かしているもの）であるパンとぶどう酒は、みことばが人となって来られたイエス様の御からだと御血に変えられ、いけにえとして神に奉獻される時、私たち自身も奉獻されるということなのです。そこにはイエス様が抱き続けた、神への希望と信頼、賛美と感謝が当然伴っているのです。

「このわたしには、わたしたちの主イエス・キリストの十字架のほかに誇るものが決してあってはなりません。」（使徒パウロのガラテヤの教会への手紙 6・14a 参照）

「神は御心のままに満ち溢れるものを余すところなく御子の内に宿らせ、その十字架の血によって平和を打ち立て、地にあるものであれ、天にあるものであれ、万物をただ御子によって、ご自分と和解させられました。」

（使徒パウロのコロサイの教会への手紙 1・19～20 参照）

### 3、集会祭儀（他の礼拝行為）はミサの代わりに行われるもの？

—「こうした祭儀は補助的な性格のものであり、司祭不在状態を乗り切るための最善の解決策ではないこと、便利さへの譲歩であるとみなすことはできないことなどを、信者に対して丁寧に説明し、理解を得ておく必要がある。」（『主日の集会祭儀指針』10 参照）

—「信者が主日の集会祭儀と感謝の祭儀を混同することがないようにしなければならない。主日の集会祭儀を通して、感謝の祭儀にあずかりたいという願いを信者のうちに増すように心がける。司教から主日の集会祭儀をゆだねられた者は、常に聖体への心からのく飢えを持ち続けるように共同体を導く責任がある。」（『主日の集会祭儀指針』11 参照）

—「感謝の祭儀は司祭なしにはささげることができないこと、主日の集会祭儀で受ける聖体は、ミサの奉獻と密接に結ばれていることを信者が理解するように指導しなければならない。また、主日の集会祭儀を、神がみ心に従って聖なる司祭を送って下さるよう祈るための貴重な機会とななければならない。」（『主日の集会祭儀指針』12 参照）

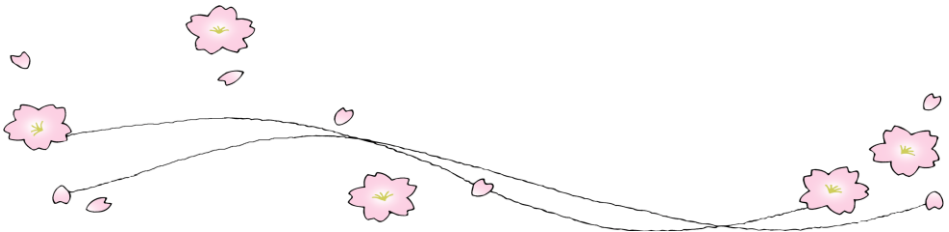
—「主日のミサの代わりになるものとして、他の諸教派のキリスト者とともに、エキュメニカル（教会一致運動）的な形式で行われることばの祭儀や共通の祈禱文による礼拝を行うこと、ならびに他の諸教派の礼拝にあずかることは、主日のミサをささげることができない場合であっても避けなければならない。」（『主日の集会祭儀指針』13 参照）

・以上の緒言で明確に述べられているように、集会祭儀は感謝の祭儀の補助的なものでもなく、代わりともならないこと、かえって感謝の祭儀において聖体の秘跡にあずかりたい

と望む信者の心に火を点けるものとならなければならないこと、また、便利な集会だからとして感謝の祭儀の意味が伝わらなくなってしまうものにしてはならないこと、さらに、主日だからとして他のキリスト教会の礼拝に参列することも避けなければならないことなどが明らかとなっています。

・司祭が不在だからこそ主日の感謝の祭儀をささげられないのであれば、当然、集会祭儀のなかで司祭を送って下さるようにと祈ることは必然ですし、その祈りは感謝の祭儀に参列したいと窮乏する信者の心から生まれてくるものとして、司祭職そのものを理解し、叙階の秘跡によって司祭職にあずかる者たちの支えとなっていきます。よって、信仰箇条である聖なる・普遍（公）的・使徒的・唯一の教会のなかで選ばれた教皇や司教、司祭との結びつきのない他のキリスト教諸教会の礼拝は、主日の感謝の祭儀の代わりにはなりません。

・主日の集会祭儀が今後導入されれば、その際にご聖体をいただくことにはなりますが、緒言にあるように、その際にいただくご聖体は、本来、感謝の祭儀でいただけるはずのご聖体であるとの理解が必要です。もちろん、同じキリストの御からだですが、感謝の祭儀に参列したいとの心を成長させるために受けなければなりません。そうでなければ、感謝の祭儀への理解だけでなく、集会祭儀そのもの、さらに司祭職、教会の理解までも歪めてしまうでしょう。



## 「こころの会」

岡本 輝男

第4日曜日ミサ後、キリスト教関連の作品を皆さんとともに鑑賞する活動を進めています。

「人からしてもらいたいと思うことは、何でもあなたが人にしなさい」(黄金律)特に世界遺産に指定された長崎、熊本、天草のキリスト教の現状や教皇様来日の様子などを、皆さんに見てもらえることが一番うれしいことと思っています。

皆さんの心に寄り添える活動を続けていきたいと思えます。ご参加お待ちしております。

## レプトン会より ペルーからの手紙

マリア・タキ保育園 2024年の報告

2024年度は、コロナ禍後、社会的にも活発な活動が行われるようになり、市の教育課や防犯・保安課などからの視察を受けました。保育園設立から11年になるこの建物は、資金不足のため必要な設備管理ができないまま、今日にいたっています。そのため視察を受けた2月の時点で、まず園を囲む外壁に亀裂が入っており緊急修理の指摘を受けました。その他にも、20項目以上にも及ぶ補修、新しい器具への交換課題が出され、頭を悩ませていました。これらの課題をクリアしないと、こども食堂も再開することができません。そのため、2024年度の支援金は、まず緊急な、保育園外部塀の修理に当てさせていただきました。前方園庭の外壁の修理、また教室の裏手、および玄関にかかるフェンスの補修と交換をしました。

2025年1月10日に振り込まれた30万円の支援金は、週1回の「健康おやつ」と、その他の課題である保育園設備の一部補修に当てさせていただきたいと思っています。ありがたい事に、2年間の猶予をいただきましたので、あせらず、優先順位を決めて、設備補修に取り組んで行こうと話しています。



(園庭外壁の補修の様子)

2024年は、63名の園児でスタートしました。全職員一致して、保育内容を向上するための努力が行われました。週末を返上して集まり、必要な手作り教材準備、行事前の会場準備など、設備補修の課題は山積みでも保育内容は充実した年でした。特に「人間の価値、すべてのものの価値を認め、意識し、感謝する」ことについて、1年間のプログラムに沿って保育活動が行われました。「地球を大切にすること、お友達を大切にすること、感謝できるひとになること」について、絵画活動、道徳教育な





ど、保育内容に繰り込んで活動が行われました。また、喜びを分かち合うことの喜びを、ダンス、スポーツを通して学ぶことができたようです。

このように充実した保育ができるのも、皆様がたからの支援があってこそです。今後とも見守ってくださいますようお願い申し上げます、ご報告とさせていただきます。

2025年1月26日

シスターマリア末吉



## ベトナム青年会の新役員紹介

会長：Van Nam ナムさん

副会長：Tuan トーンさん

日本での技能研修を修了して3月末日にベトナムに帰国されることになった、ベトナム青年会会長 Loc ロックさんの後任が決まりました。ロックさんは2年前のイースターのろうそくの虹色の灯かりや、空と海の彩り鮮やかな若松海浜公園でのメンバー集合写真など愛用のカメラのファインダー越しに撮られた美しいシーンは幾度も私たちを感動させてくれました。画像はいつまでも皆の心に残ることでしょう、感謝します。これからはベトナムと日本で働く青年会メンバーの架け橋となられ、ご活躍なさいますように祈っております。

これからも新会長ナムさん副会長トーンさんと共に、水巻共同体との交わりを深めていくことができますよう皆様よろしくお願い致します。 記 福嶋 東三子



**TRƯỞNG NHÓM  
SỐNG ĐẠO MIZUMAKI  
2025**

**PHÊ RÔ DẬU VĂN NAM**  
Yêu Thương Phục Vụ

Được Sự cho  
phép của Cha  
Và các bạn  
bầu cử: Tân  
Trưởng  
Nhóm 2025





**PHÓ NHÓM ĐỐI NGOẠI  
SỐNG ĐẠO MIZUMAKI  
2025**

**GIUSE LÊ VIỆT TUẤN**  
Yêu Thương Phục Vụ

Được Sự cho  
phép của Cha  
Và các bạn  
bầu cử:  
Tân Phó  
Nhóm  
Đối Ngoại  
2025







## 水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 3月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

### 〈水巻聖母幼稚園〉

2月は1年の中でも1番寒い月です。幼稚園にもたくさんの雪が降りました。園庭では、子ども達は雪の中を走り回ったり、雪だるまを作ったり、つららを見つけたりとたくさん雪遊びをしました。降ってきた雪を写真にして見ると、とてもきれいな雪の結晶でした。子ども達は、絵本を持って来て雪の結晶と同じ形を、見つけていました。



幼稚園にも、赤鬼さんがやって来ました。みんなの中にいる鬼は何か聞いてみると、野菜が苦手な鬼、片付けない鬼などでした。たくさんの幸せな福が来るように、みんなで「鬼は外！福は内！」これからも子ども達が健康で幸せに過ごせますように。

TEL : 093 201 9559

e-mail : [ccontactus@mizumakiseibo.ed.jp](mailto:ccontactus@mizumakiseibo.ed.jp)

### 〈マリア子どもの家〉



今年は、124年ぶりに2月2日が節分ということでしたが、マリアでは1月31日に豆まきをしました。パープサートで、欲張りな鬼達が幸せに暮らしている村人を泣かせる話を聞きました。最後に、「鬼は外 福は内～」とエアー豆まきをしました。自分で、角や目、鼻や牙を貼って作ったお面を着け、こっそり部屋から出て行ってもらいました。色々な表情の可愛い鬼さん達でした！今年も健康に過ごせますように。

数年に一度の大寒波がやってきて、マリアの畑や庭にも、あっという間にたくさんの雪が積りました。ぼたん雪が降る中、みんなで畑に行ってみることにしました。雪の上を歩くと「キュッキュッ」と音が鳴ったり足跡がついたり、全部が新鮮な体験のようでした。最初は恐る恐る雪に触れたり見たりしていましたが、真似て片手で掘って投げたり丸めたり、楽しみました！



<https://www.mariahouseofchildren.jp>

水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家  
園長 水口 由美 教職員 一同

## 委員会等報告

2025年2月分

## 2月度小教区委員会 2月2日

## 1. 行事予定

- ・ 3月 2日(日) 11時～ミサ  
ミサ後～小教区委員会
- ・ 3月 5日(水) 19時～灰の水曜日ミサ
- ・ 3月 9日(日) 9時～ミサ  
ミサ後～教会学校
- ・ 3月 16日(日) 11時～ミサ  
ミサ後～集会祭儀についての研修会③  
18時～ベトナム語ミサ
- ・ 3月 23日(日) 9時～ミサ  
ミサ後～教会学校、こころの会
- ・ 3月 30日(日) 11時～ミサ  
ミサ後～各地区に分かれて大掃除

## 2. 議題

(1) 各専門委員会および代表委員(営繕、納骨堂、冠婚葬祭)、北九州地区宣教司牧評議委員より

## ① 広報委員会

- ・ 特になし

## ② 典礼委員会

- ・ 特になし

## ③ 総務委員会

- ・ 特になし

## ④ 財務委員会

・ 2024年度の収支決算書と2025年度の予算書を確認。

## ⑤ 営繕の部

・ 聖堂へ上がるスロープの雨漏り部分が問題となっているが、その部分を補修するだけ

では根本的な問題解決とはならないため、2/16(日)に行われる集会祭儀についての研修会后、現状の報告とともに、今後、どのような工事が想定されるのかを信徒間で共有するための時間を持つこととなった。

## ⑥ 納骨堂管理の部

- ・ 特になし

## ⑦ 冠婚葬祭の部

- ・ 特になし

## ⑧ 北九州地区宣教司牧評議会

・ 5つの委員会を構成するための担当者の名簿を地区宣教司牧評議会に提出した。

## (2) その他

・ 12月29日(日)クリスマスパーティーの振り返り。

➡ 足りなくなることもなく、よく準備された食事の量だったと思う。特にカレーが好評だった。

・ 3月9日(日)～4月13日(日)はロザリオに換えて十字架の道行きを行う。

・ 4月6日(日)14時～直方教会で行われる地区聖書講座は四旬節の黙想会を兼ねているので参加を促す。

・ 4月20日(日)復活の主日のミサ後パーティーを行うか？

➡ 食事は役員会が準備することとなった。

・ 5月からの主日ミサにおける第5共同祈願の担当者は？

➡ 5月は冠婚葬祭の部、6月は納骨堂管理の部、7月は赤間・海老津地区代表委員、8月



以降は各小グループに依頼することとなった。

・小教区委員長(小教区副委員長)が在任期間の満期(1期2年の最長3期、計6年)にあたるので、次の小教区委員長を選出する必要がある。

一そこで、各地区内、小教区委員会からまず立候補者を募る。それを受け、役員会より推

薦を行う(次回の小教区委員会で報告を)。新しい小教区委員長は主任司祭の承認後、5月25日(日)の信徒総会において選任される。また、信徒総会后にあらためて小教区副委員長、各専門委員長、各地区委員、各代表委員の推薦を行い、これも主任司祭の承認を得て選任される(継続、新任は問わず)。



### ★特別献金★

1月26日 世界子ども助け合いの日  
27, 172円  
ご協力ありがとうございました。

### ★灰の水曜日(大斎・小斎)★

日 時: 3月5日(水) 午後7時~  
今年は夜のミサ、1回だけです。

### ★司祭不在時の集会祭儀の研修会★

1月から始まった、司祭不在時の集会祭儀の3回目の研修会が、3月にあります。

日 時: 3月16日(日)ミサ後  
場 所: 水巻教会聖堂

是非、参加しましょう。

### ★教会掃除★

3月30日(日)は、第5週にあたるので教会掃除は、全地区で行います。

担当割がありますので、それに従って、皆さんで掃除しましょう。

### ★四旬節の予定★

#### ○四旬節の黙想会

4月6日(日) 14時~ 直方教会

※地区聖書講座を黙想会に兼ねます。

○受難の主日 4月13日(日) 9時~

○聖木曜日 4月17日(木) 19時~

○聖金曜日 4月18日(金) 19時~

○復活徹夜祭 4月19日(土) 19時~

○復活の主日 4月20日(日) 9時~

